

第9回東名セミナーを開催しました。

東名古屋病院が地域に開かれた病院に、また、患者さんや地域の皆様に親しまれる病院に生まれ変わろうとしていることをアピールし、地域の方や医療関係者の方々に役立つ、様々な医療情報を継続して発信することを目的として、10月19日(土)に第9回目の「東名セミナー」を開催しました。

メインテーマ：「乳がん診療の最前線」

日時：平成25年10月19日(土)、13:30～15:30

場所：東名古屋病院 体育館

内容：

講演① 「乳がん診断の現在と将来」 13:40～14:20

名古屋医療センター 高度診断研究部長 遠藤 登喜子 先生

講演② 「乳がんの診療について」 14:30～15:20

東名古屋病院 乳腺外科専門医 小川 弘俊 先生

参加者数：107名



遠藤先生の講演



小川先生の講演

当日は、朝から小雨が降る天気でしたが、開催時間には雨も上がり、107名の皆様にご参加いただくことができました。

今回は「乳がん診療の最前線」をメインテーマに、講演①では名古屋医療センター高度診断研究部長 遠藤登喜子先生をお招きし、「乳がん診断の現在と将来」と題した講演をしていただきました。乳がん罹患の現状や原因から、検査・診断・治療まで、特にクイズもまじえながら一般の方々にも分かりやすい解説をしていただきました。参加者の方からは乳がんについての理解がとても進んだとの声が多くありました。また、マンモグラフィ一等の最新医療検査機器に関する内容も大変興味深いものとなりました。講演②では当院乳腺外科医師 小川弘俊先生の「乳がんの診療について」は多くの症例写真を使いながら、具体的な病状の説明やそれに対する治療方法、治療後の状況について丁寧な解説で、参加者の皆様は非常に興味深くスクリーンを見入っておられました。また、両先生方の講演終了後も別れを惜しむように乳がんに関しての質問をされる方もおられ、盛況のうちに終了することができました。次回も皆様に喜ばれるセミナーを目指しますので、どうぞよろしくお願いたします。